

中学年ブロック(3年国語科)

単元名 物語をしょうかいしよう

学習材名 「わすれられないおくりもの」

(目指す児童像) 登場人物の気持ちの変化を、叙述をもとに読み取り、そのときの気持ちを想像して考えようとする子。

つきたい力	<学習内容の確実な定着を図る指導の工夫・改善>	<学習意欲を高める指導の工夫・改善>
<p>(領域)「C読むこと」目標</p> <p>目的に応じ、内容の中心をとらえたり段落相互の関係を考えたりしながら読む力を身に付けさせるとともに、幅広く読書しようとする態度を育てる。</p> <p>① 場面の移り変わりに注意しながら、登場人物の気持ちの変化や情景について、叙述を元に想像して読む力</p> <p>② 文章を読んで考えたことを発表し合い、一人一人の感じ方について違いがあることに気づく力</p>	<p>① 課題意識・目的意識の獲得</p> <p>① 場面の移り変わりに着目しながら、読みを深めるという課題意識をもたせる。</p> <p>② 叙述に基づいて気持ちを想像しながら読み低学年に作品のよさを伝えるという目的意識をもって「ガイドトライアングル」にまとめる。</p> <p>② 主体的・創造的な言語活動</p> <p>① 発問の工夫</p> <p>② 学習形態の工夫 小グループ学習</p> <p>③ ワークシートの工夫</p> <p>④ 「ガイドトライアングル」</p> <p>⑤ 読書活動</p>	<p>③ 課題意識・目的意識の獲得</p> <p>① 学習計画を立て、教室に掲示する。</p> <p>④ 自己評価の工夫</p> <p>① 習計画表に一言感想を記入する。</p> <p>⑤ 相互評価の工夫</p> <p>① グループの話合いの場を設け、一人ひとりの意見の違いや感じ方を理解しながら、互いに比べ合う。</p> <p>⑥ 教師によるそのつど評価の工夫</p> <p>① 机間指導で声をかける。</p> <p>② ワークシート</p> <p>③ 自分の意見をしっかりと発表し、友達の考えも認めている児童を称賛する。</p>

単元の目標

- 登場人物の心の動きを考えながら、物語の内容をわかりやすく紹介しようとする。(関心・意欲・態度)
- 場面ごとの登場人物の気持ちの移り変わりを、叙述に基づきながら想像し考えることができる。(読む)
- 人物の行動や気持ちを表すために、言葉が効果的に使われていることに気付く。

(言語についての知識・理解・技能)

【本時の授業の実践と考察】

本時(3/5時)

(☆ 他教科・他学年との関係 ※ 考察)

- 1 前時の学習内容をふり返る。 手だて③-①
- T: 前の時間は、登場人物の気持ちに着目して読み、自分のお気に入りの場面を見つけることができました。そしてその場面の内容をガイドトライアングルとしてまとめましたね。
- 2 本時の課題を知る。

課題わすれられないおくりものを読み、登場人物の気持ちの変化について考えよう。

- 3 登場人物の気持ちがどのように変わったのかを考える。(一人学び) 手だて②-③
- T: 気持ちの移り変わりが分かるように、選んだ場面の前後の気持ちの変化を探しましょう。(黙読)



C: アナグマが死んでしま
って、みんな悲しみにくれ
ているな。

C: アナグマの死を受け入
れて、動物たちの気持ちが
どんどん変わっているな。

4 グループで交流する。 手だて②-② 手だて⑥-②
☆お互いの考えを尊重し合い、他者理解の大切さを理解させる。(道徳)

C: アナグマの死で悲しく
なったけれど、思い出を話
すことができるようになったよ
ね。

C: きっとアナグマは自分たちの
心の中にいるのだと分かったん
じゃないかな。

C: ぼくは、アナグマが
死んで悲しいというよ
り、どうしたらよいか分
からなくて途方にくれて
いるのだと思うな。

C: わたしもそう思います。春が
来たから悲しさも消えて、アナグ
マの思いを受け継ごうと温かい
気持ちになっていると思います。

※話し合いの手順を示すことにより一人ひとりが考えた意見を発表し、意見や言葉の表現にちがいがあること気づくことができた。

5 全体で交流をする。 手だて⑤-① ⑥-③

C: アナグマが死んでしま
って悲しいのはみんな同じだ
けれど、そのあと動物たちは
アナグマに見守られている
ような気がして嬉しくなっ
ていると思います。

C: それはきっと、アナグマと過
した日々が心に残っているから
だと思います。アナグマが残し
てくれたものの豊かさで悲しみ
も消えたと書いてあるからです。

※全体で交流することにより、同じ場面でも、ちがう意見や同じ意見があることや、登場人物の気持ちが場面ごとに移り変わっていくことに気づくことができた。

6 学習の振り返りをする。 手だて②-④

【指導講評】さいたま市教育委員会学校教育部指導1課主任指導主事

米玉利 優子先生

- AB ワンセット方式の単元計画を組んだ挑戦は良かった。1時間毎に学習を進めるので子どもの力は定着するのではないか。習得、活用とどちらが本校の実態に即しているか見取りたい。
- ワークシートの大きさ、書きやすさが良く考えられているワークシートで良かった。今までのものが綴じられているワークシート集は子どもの財産になるので良い。
- 「気持ちを表す言葉」を教えるチャンスである。悲しいだけに捉われず語彙力を高めると更に良い。
- よりよい交流をするするための手立てとして、交流しなければならない状況を作ることが大切である。全体交流は児童主体に進めても良かったのではないか。